



別に蕎麦の蘊蓄や能書きを書こうと言うのではありません。私はまだ決して蕎麦を求めて歩く、「ただひたすらに食べる」のが蕎麦道なの

島、山形、新潟にいながら決して蕎麦に傾倒しなかつたのですが、50代に入り笑顔朝は蕎麦、蕎麦湯を欠かさず、夜は蕎麦が無ければ眠れないといった状態まで溺れてしまいました。

1つには持病の高血圧改善、2つめは減量願望、3つ目が蕎麦屋の酒のつまり、素晴らしい、ということがあります。

友人の中には自分で蕎麦を越しを機に庭は西洋芝と決めた。あのブルーリーンが欲しかったのだ。

西洋芝の混合種を蒔き、十分な水と肥料を与えると、1ヵ月程で期待通りに生え揃い、勢い良く伸びた。西洋芝の成長が見えたので、庭は西洋芝とは、ケンタッキーブルーライグラス等の寒冷地芝を言う。西洋芝は日本の夏の暑さと湿気に弱く、十分にケアする技術も時間もない一般家庭では避けるのが賢明だ。

欧米では芝刈りは男の仕事で、庭の芝生を見ると、その家の文化水準と夫の教養の程度が分かるという。在した時は、芝刈りの必要の無いアパートに住んだ。

その時代ニューヨークに駐在した時は、芝生のケアにいそしむのは、我が家で私だけである。

（菱商事フューチャーズ常務 福住俊次）

3年前の春、引

きます。

（新日本商品監査役 斎藤明一）

3年前の春、引